

平成 28 年度の協議会の開催概要

第 26 回 平成 28 年 5 月 10 日

●主な議題

- ・公園部会の提案書の提出について
- ・今年度の進め方について
- ・道路・公園部会の報告



▲当日の意見交換の様子

まちづくり報告会 平成 28 年 7 月 20 日

●主な議題

- ・協議会からの報告
- (1) 公園部会の取組と公園の開園について
- (2) 道路部会の取組と提案(案)について



▲当日の意見交換の様子

第 27 回 平成 28 年 10 月 4 日

●主な議題

- ・まちづくり報告会(7/20)について
- ・道路・公園部会の報告
- ・文化祭の出展について



▲当日の意見交換の様子

第 28 回 平成 29 年 2 月 14 日

●主な議題

- ・文化祭及び道路・公園部会の報告
- ・来年度の協議会について
- ・糸魚川市駅北大火について



▲当日の意見交換の様子

新しい補助金交付制度がスタートします！

市では、平成 29 年 4 月から①木造老朽建築物等の除却、②通路(水路)沿いの危険なブロック塀の除却とその除却に伴うフェンス等の新設、③通路(水路)に避難するための通り抜けの確保についての補助事業をスタートします。

詳細は以下の問合せ先までお問合せください。

問合せ先

川口市 都市整備部 市街地整備室 住所：〒333-0853 川口市芝園町 3-1-7
TEL：048-264-5321 (直通) FAX：048-264-5322

発行日：平成 29 年 5 月
発行：芝富士地区まちづくり協議会
(事務局)川口市都市整備部市街地整備室
編集協力：(株)首都圏総合計画研究所

川口市からのお知らせ

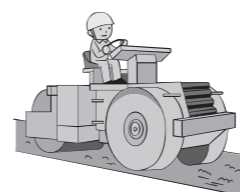
芝富士地区は、『誰もが安心して快適に住み続けられる環境のあるまち』を目指し、住宅市街地総合整備事業(密集住宅市街地整備型)を進めております。

主要区画道路については、引き続き建物調査や用地買収に向けた具体的な話を進めていきます。補償費等については、個別の調査が必要となりますので、希望される調査時期があれば市街地整備室までお問合せ下さい。

今年度は新たな補助金交付制度も加え、より良いまちを目指してまいります(詳細は4頁をご覧ください)。今後とも、ご理解ご協力よろしくお願い致します。

道路整備

日常時の安全・快適な歩行及び災害時の消防・避難活動のために、道路の整備を進めます。



公園整備

日常時の憩いの場、災害時の避難場所等として活用できる公園の整備を進めます。



避難路整備

災害時に避難路となる通路(水路)沿いの危険なブロック塀の除却や、通路(水路)への通り抜けの確保等をそれぞれ行うための補助金制度を開始します。



道路部会・公園部会の活動報告！

道路部会は、平成 28 年度にまちの道路に関する課題の検討をとりまとめた提案書を作成し、活動を終了しました。提案書は、平成 29 年 5 月 24 日(水)に平林協議会長、新井道路部会長より市へ提出しました。

公園部会では、発足した平成 26 年度から平成 28 年度までの歩みをまとめた「公園部会の記録」を作成しました。また、部会は、第 17 回をもって休会とし、今後は住民主体の芝富士町会公園ネットワークが地区内の公園の維持管理に携わっていきます。

芝富士地区のまちづくりの状況をお伝えします！

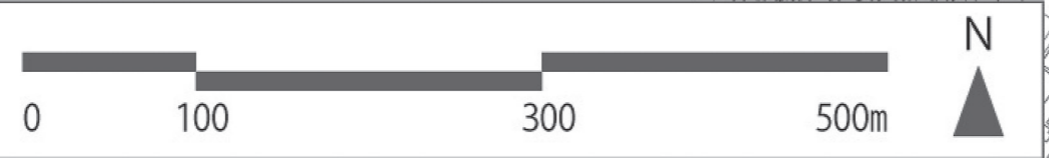
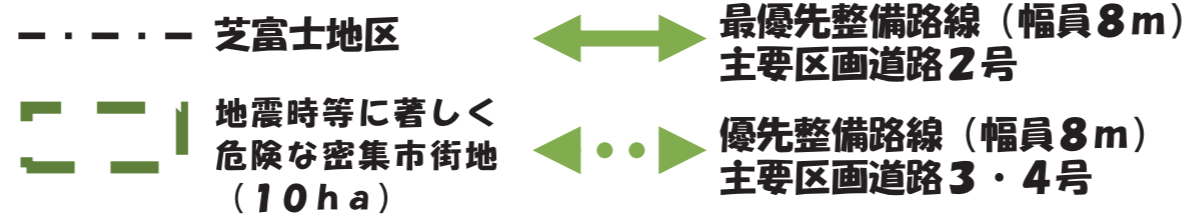
主要区画道路2・3・4号

<平成28年度>

個別に用地買収に向けた具体的な話を進め、5件のご協力がありました。

<平成29年度>

- ・買収した道路用地は、暫定整備を行います。
- ・沿道の方には、道路整備の説明、意向調査、建物調査等を行います。
- ・また、協力の意向がある方には、建物調査、用地買収を進めて行います。



公園用地の確保

<平成29年度>

整備計画で目標に定めている5,000㎡の公園用地の確保・整備に向けて、引き続き用地買収の検討を行います。



▲主要区画道路3・4号の用地買収にご協力頂きました(左写真:3号①、右写真:4号②)。

公園整備

<平成28年度>

秋に「芝富士ふれあい公園」として開園しました。



▲芝富士ふれあい公園



▲主要区画道路2号の道路用地

密集市街地の状況改善について

平成24年に国を通して公表された「地震時等に著しく危険な密集市街地(左図中橙色の点線内)」ですが、道路・公園用地に係る買収(道路幅員の確保、空地の創設)や、建築物の建替え等(耐火・準耐火建築物の増加、老朽建築物の減少)によりその状況は毎年変化しています。

以下の表は密集市街地における災害時の避難確率を指標化した「地区内閉塞度」を示したものです。災害時の避難確率「97%」以上＝地区内閉塞度「2」以上が密集市街地改善の目標値とされています。

■表. 芝富士地区内「地震時等に著しく危険な密集市街地」の地区内閉塞度

時点	地区内閉塞度*	災害時の避難確率
平成26年度末	4	93.6%
平成28年度末	4	94.2%

※地区内閉塞度の評価について

地区内閉塞度	災害時の避難確率	説明
1	99%以上	人が一生のうちに不慮の事故で亡くなる確率は2.4%程度であることから、災害により避難困難となる確率をそれと同等の3%としています。このため、避難確率は97%以上であれば避難困難性(閉塞危険性)は低いとしています。
2	97%以上 99%未満	
3	95%以上 97%未満	
4	93%以上 95%未満	
5	93%未満	